

5. カナダ

(1) カナダクライムストッパーズの概況

導入の経緯

1982年、アルバータ州カルガリーにクライムストッパーズ初の海外支部が設立された。これにより、それまで米国の慈善団体であったクライムストッパーズは、海外においても活動を展開する国際組織となった。カルガリー支部の設置に続き、1983年にはエドモントンに、1984年にはオンタリオ州ハミルトンにおいてクライムストッパーズが設立された。現在、ヌナブト準州を除く全州にクライムストッパーズが設置されており、115支部が活動を行っている⁸⁷。

カナダクライムストッパーズの中央本部として、「カナディアン・クライムストッパーズ協会」(Canadian Association of Crimestoppers)がある。同協会はカナダ代表部としてCSIの傘下に属しており、CSIから発信される情報を各支部へ伝達する役割を担っている。中央本部は、カナダクライムストッパーズの規約を決定したり、地区で行う会議やイベントの広報活動、支部間のネットワーク強化の為に活動等を行っており、通報受け業務は行っていない。各支部は中央本部へ支部の規模に応じて年会費を納めているが、中央本部は各支部に対し、運営方針や活動内容に関する指示をすることはない。支部はそれぞれ主体的に活動を行っており、支部ごとの独立性が高いといえる。

⁸⁷ 2007年1月時点。クライムストッパーズインターナショナル統計ウェブサイトよりMRI作成。
(URL:<http://www.csimdata.com/ReportCanada.aspx>)

カナダクライムストッパーズ統計(2007年1月22日時点)⁸⁸

州名	支部数	逮捕数	検挙に至った 事案数	報奨金支払総額	押収物品総額	押収薬物総額
AB	7	15,361	28,175	\$2,401,949	\$32,239,293	\$214,790,836
				¥256,528,153	¥3,443,156,492	¥22,939,661,285
BC	47	16,883	24,504	\$1,500,211	\$59,601,263	\$508,328,038
				¥160,222,535	¥6,365,414,888	¥54,289,434,458
MB	3	7,825	14,224	\$697,405	\$36,021,699	\$66,668,446
				¥74,482,854	¥3,847,117,453	¥7,120,190,033
NB	2	7,622	6,744	\$565,431	\$6,607,583	\$42,603,231
				¥60,388,031	¥705,689,864	¥4,550,025,071
NF	1	1,281	1,358	\$128,025	\$1,362,502	\$2,430,360
				¥13,673,070	¥145,515,214	¥259,562,448
NS	2	3,553	6,110	\$340,155	\$5,365,409	\$10,995,616
				¥36,328,554	¥573,025,681	¥1,174,331,789
NT	1	0	142	\$13,585	\$171,050	\$223,100
				¥1,450,878	¥18,268,140	¥23,827,080
ON	42	70,664	113,151	\$10,789,830	\$191,079,639	\$1,238,881,174
				¥1,152,353,844	¥20,407,305,445	¥132,312,509,383
PE	1	576	786	\$37,325	\$790,924	\$1,326,678
				¥3,986,310	¥84,470,683	¥141,689,210
PQ	1	718	9,882	\$43,000	\$5,452,715	\$171,798,642
				¥4,592,400	¥582,349,962	¥18,348,094,966
SK	7	7,114	11,637	\$293,225	\$17,711,091	\$14,460,396
				¥31,316,430	¥1,891,544,519	¥1,544,370,293
YT	1	0	34	\$0	\$0	\$0
				¥0	¥0	¥0

AB : アルバータ	NT : ノースウェスト準州
BC : プリティッシュコロンビア	ON : オンタリオ
MB : マニトバ	PE : プリンスエドワードアイランド
NB : ニューブランズウィック	PQ : ケベック
NF : ニューファンドランド	SK : サスカチュワン
NS : ノヴァスコシア	YT : ユーコン準州

⁸⁸ クライムストッパーズインターナショナル統計ウェブサイトより MRI 作成。
(URL : <http://www.csimdata.com/ReportCanada.aspx>)

通報者保護に関する判例 - リジャイナ対リューパー部分事件

カナダでは「情報提供者の特権の原則」(principle of police informer privilege)に基づき、匿名の情報提供者が法的に保護されている。「情報提供者の特権」は、事案に関する情報を提供した人物の身元を開示しないことを定める法的ルール (legal rule) であり、クライムストッパーズの通報者に対してもこの特権が認められている⁸⁹。クライムストッパーズの通報者に「情報提供者の特権」が認められると認識されたのは、1997年のカナダ最高裁判決による。「リジャイナ対リューパー部分事件 (Regina vs. Leipert)」と呼ばれる同裁判では、クライムストッパーズに提供された情報の開示を求めた被告人に対し、裁判官が情報提供者の匿名性の確保を理由に、その要請を否認した。同裁判官は、情報提供者の匿名性を確保することは、刑事手続きにおいて最も重要な要素の一つであると述べ、通報情報を開示することで通報者の身元が判明する可能性がある以上、情報の開示は認められないと判断した。カナダクライムストッパーズは検察や警察から通報者に関する情報の開示を要請されると、同判決結果を情報の非開示の根拠としている。

「リジャイナ対リューパー部分事件」概要

リジャイナ対リューパー部分事件 (1997年)

ある男性が自宅の地下室でマリファナを栽培しているとの情報が、クライムストッパーズへ匿名で提供された。指定された住所付近を警察官が麻薬探知犬を連れて捜査したところ、窓が完全に閉鎖された一軒の民家の前で、麻薬探知犬が反応を示し、警察官自身もマリファナの匂いを確認した。これを証拠として警察官は家宅捜索の為に令状発行を請求し、家宅捜索を行ったところ、地下室からマリファナが押収され、麻薬栽培及び密輸容疑で男性が逮捕された。

容疑者は法廷において、クライムストッパーズへ提供された匿名通報の内容の開示を求めたが、裁判官は通報者の匿名性を守る為に開示請求を却下した。

⁸⁹ Ontario Provincial Police ウェブサイト (URL:<http://www.opp.ca>)

(2) トロントクライムストッパーズの事例

スタッフ数及び情報の受付体制

トロントクライムストッパーズは、トロント警察署内に併設されており、6名のフルタイムスタッフが勤務している⁹⁰。トロント支部の代表を務めるラリー・ストレイバー刑事は、トロント警察の現職の警察官であるが、現在はクライムストッパーズ専属スタッフとして勤務している。その他のフルタイムスタッフは、怪我のため一時的にクライムストッパーズスタッフとなっている警官や定年退職した元警官といった、警察経験者が中心である。また、一般市民のパートタイムスタッフや学生ボランティア等も無償で活動を支援している。クライムストッパーズ職員はフルタイム・パートタイムを問わず、全員毎年更新される守秘義務契約を結んでいるほか、年1回の犯罪歴審査が義務付けられている。

トロントクライムストッパーズでは、アルバカーキ・メトロ・クライムストッパーズと同様に、オルタナティブ・アンサー社と契約を結んでいる。トロントクライムストッパーズの受付時間終了後の通報はオルタナティブ・アンサー社によって対応され、オンラインシステムを通じてトロントクライムストッパーズへ情報が伝達される。

トロント警察署



トロントクライムストッパーズの執務室



トロントクライムストッパーズ車両



出所：MRI 撮影

⁹⁰ 2006年9月時点。トロントクライムストッパーズ。

理事会の役割

トロントクライムストッパーズでは、年に1度理事会メンバーの選出選挙を行っている。理事会の任期は1年間であり、毎年新しい役員が立候補者の中から投票によって選出される。理事会の主な役割は、資金調達活動の企画・運営及び報奨金の支払額の決定である。

理事会の役割⁹¹

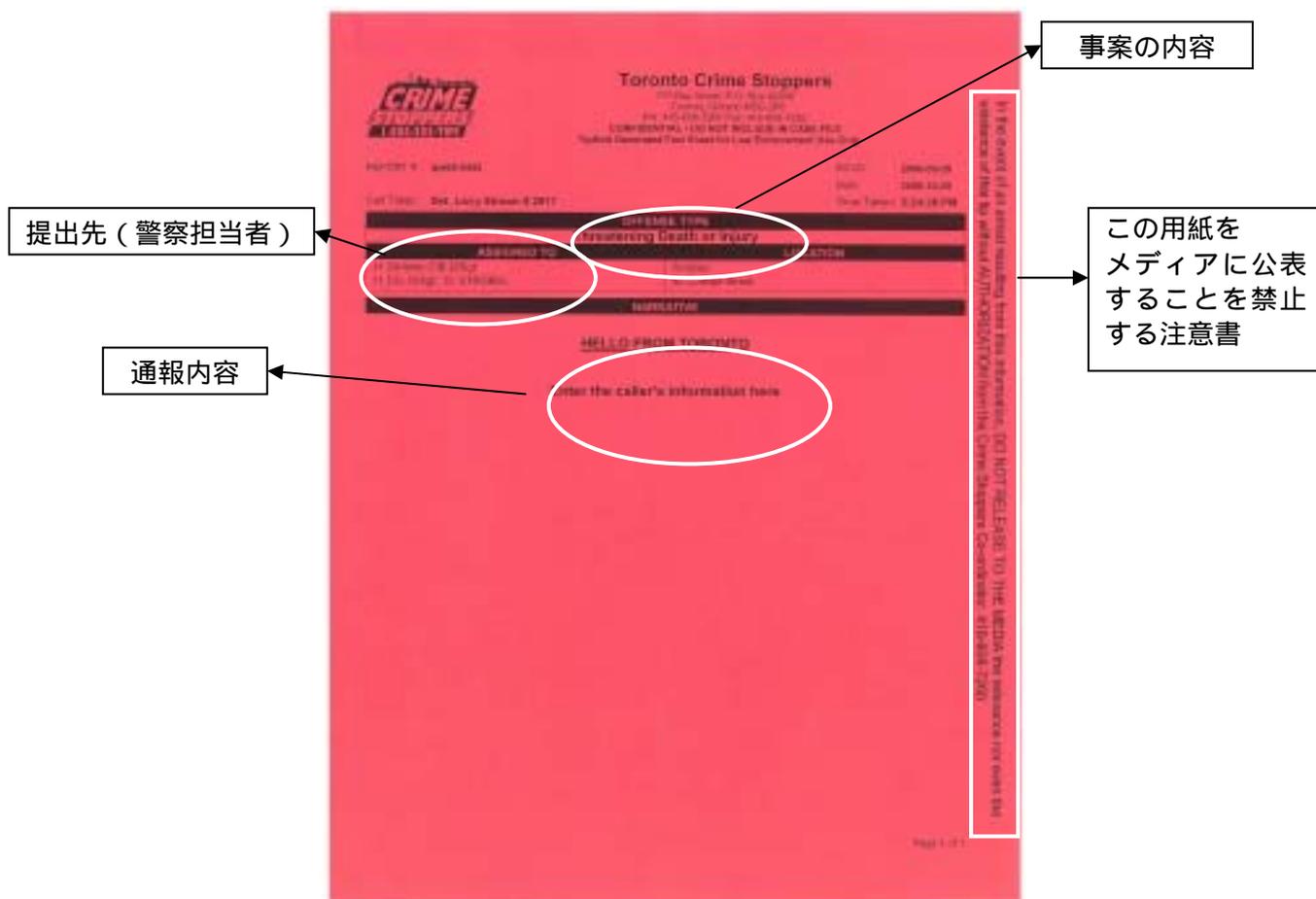
- ・ 報奨金の支払額の決定
- ・ チャリティ活動や資金調達活動の内容の協議・決定
- ・ 作業チームのリーダーとなって、ボランティアスタッフを統括する
(例：年次総会運営作業チーム)

⁹¹ トロントクライムストッパーズ。

警察への情報提供要領

匿名による通報情報は、全てクライムストッパーズスタッフから、トロント警察内の事件を担当する警察官へ手渡しで届けられる。通報を受けると、クライムストッパーズスタッフは通報情報を専用の赤色の通報内容転達用紙に記入し、当該部署の警察官へ提出する。赤色の用紙を使用するのは、クライムストッパーズの情報が担当官の目に留まりやすくする為の工夫である（机上等において用紙が放置されないための配慮）。

クライムストッパーズから警察へ提出する通報内容転達用紙（表）⁹²



⁹² トロントクライムストッパーズ提供。

また、用紙の裏には、通報者の匿名性を守る為の注意事項が細かく明記されている。ストレイバー代表によると、一部の警察官はクライムストッパーズの活動内容を熟知していないことから、匿名情報の誤った取り扱い（メディアに通報内容を公表する等）をする可能性があることから、クライムストッパーズでは警察内部に対しても積極的に広報活動を行っており、警察内部での理解を深めるよう努めている。

通報内容伝達用紙の裏に記載されている注意事項（一部）⁹³

- クライムストッパーズから提供された通報情報は、他の極秘情報と同様に取り扱うこと。
- 同用紙に記されている通報内容の所有権はクライムストッパーズにあり、クライムストッパーズの許可なしに複写、警察レポートへの添付、第3者へ転送することは禁じられている。
- クライムストッパーズの情報は、情報公開法に基づく開示対象とならない。
- 捜査終了後は、通報内容が記された同用紙をクライムストッパーズへ返却すること。その際、捜査結果について記載したレポートを添付すること。
- 捜査の過程において、使用している情報がクライムストッパーズから提供されたという事実は可能な限り公表せず、匿名情報であることのみを公表すること。

クライムストッパーズから警察へ情報が転達されると、警察は60日以内に捜査の進捗状況についてトロントクライムストッパーズへ連絡をしなければならない。その際警察は以下の用紙に記入し、通報情報が捜査の過程でどのように役に立ったのか（もしくは役に立たなかったか）報告すると同時に、通報情報の貢献度を評価している。しかし、警察からの回答率は低くなっており、担当官から同報告書を回収することが困難となっている。

⁹³ トロントクライムストッパーズ。

警察からクライムストッパーズに提出される報告書 (実物)

Toronto Crime Stoppers Disposition Report
NOT TO BE DISCLOSED

The Toronto Crime Stoppers Program received the enclosed information package. At the conclusion of your investigation or within 60 days please complete this form and return the information package to Toronto Crime Stoppers. Please indicate the status of the investigation. If you require an extension of the diary date, please contact the police co-ordinator at (416) 808-7260. Your co-operation is greatly appreciated.

Crime Stoppers Report # _____ Involved Police Service _____

Officer Assigned and Badge # _____

Please check one of the following

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> Insufficient information provided
(Please note required information below) | <input type="checkbox"/> Investigation is continuing |
| <input type="checkbox"/> Tip information is unfounded | <input type="checkbox"/> Investigation cleared by charges |
| <input type="checkbox"/> Investigated – No further Action required | <input type="checkbox"/> Investigation pending |
| <input type="checkbox"/> Information was already known | <input type="checkbox"/> Surveillance was conducted on the suspect premises and insufficient information was gathered to warrant further action. |

PLEASE COMPLETE THE FOLLOWING IF INVESTIGATION WAS SUCCESSFUL

Date of Arrest _____ Number of person's arrested _____

Accused Surname _____ Given Name _____
(If more than one accused, include names in space below)

CIPS case# _____

Number of Charges Laid _____ Number of investigations/Cases Cleared _____

Value of Stolen Property Recovered \$ _____

Value of seized drugs/narcotics \$ _____

Relative Importance of this Tip to the Success of this investigation 1 2 3 4 5
(Not important) (Very important)

NARRATIVE

(Include any additional information, including description of drugs, drugs paraphernalia, stolen property recovered, additional arrested persons or interesting facts)

ATTENTION

If this tip assisted you in your investigation in anyway, please let Toronto Crime Stoppers know about it. Crime Stoppers wants to reward our tipsters so they call back again.

財源・資金調達活動

トロントクライムストッパーズの活動資金はすべて、資金調達活動やチャリティ活動から得た収益から拠出されている。中央政府、トロント州政府及び警察からの公的な資金支援は受けていない。トロントクライムストッパーズは、主体性を維持する為に警察からの資金に依存しないことが望ましいと考えており、可能な限り独自で活動資金を確保することを目指している。公費からの財政支援を受けない一方で、スタッフの給与や事務所の維持費、機材等はトロント警察が支給している。このため、警察から間接的な財政支援を受けているといえる。

トロントクライムストッパーズの主な資金調達活動は、年に一度開催される晩餐会やゴルフコンペ、バーベキュー、大学や高校での講演活動及び募金活動等である。

広報活動

2006年にトロントクライムストッパーズが実施したキャンペーンの一つに、銃犯罪防止キャンペーンがある。「銃をお金に (Cash for Guns)」というスローガンのもと展開されたキャンペーンは、銃の不正保有に関する情報提供と引き換えに最高 500 カナダドル (約 53,000 円) を支払うというものである。トロントクライムストッパーズでは、同キャンペーンのポスターの作成を広告会社へ委託し、プロのデザイナーが作成したポスターの完成会見を地元のテレビ局、新聞社、ラジオ局を招待して行ったところ、大きな反響があった。招待されたメディアが同キャンペーンについて報道することが、一番の宣伝効果となったとストレイパー刑事は述べている。新聞社や出版社の中には、広告スペースを無料でクライムストッパーズに提供するケースもあった。2007年度は、街中に設置しているごみ箱にクライムストッパーズの広告を掲載する計画である。

トロントクライムストッパーズでは、地元テレビ局と協力し、事件現場を捉えた防犯カメラの映像を放送している。以前は事件の再現映像を作成し放送していたが、コストがかかる上に再現映像では現実味に欠ける為、現在は監視カメラの映像を放送している。防犯カメラの映像は、トロントクライムストッパーズのウェブサイトからも閲覧することが出来る。



「銃をお金に (Cash for Guns)」
キャンペーンポスター
出所：トロントクライムストッパーズ

コースターの裏に描かれたクライムストッパーズの広告⁹⁵



表

裏

警察が実況見分を行う際使用するテープ（実物）⁹⁶



クライムストッパーズへの通報番号が記載されている。

トロントクライムストッパーズポスター⁹⁷



「最高2,000ドルの報奨金。容疑者に関する情報を寄せてください。あなたの名前や電話番号は一切尋ねません。」



「犯人を捜してください。目撃情報はクライムストッパーズへ。報奨金の支給あり」

⁹⁵ トロントクライムストッパーズ提供。

⁹⁶ トロントクライムストッパーズ提供。

⁹⁷ トロントクライムストッパーズ提供。

報奨金の支払方法

クライムストッパーズは、日頃から提携銀行の職員に対しクライムストッパーズの業務内容について説明をすると同時に、マネージャークラスの職員を対象にクライムストッパーズに関する研修を実施しており、報奨金の受領時に通報者の身元が明かされることのないようにしている。

報奨金の金額は、過去の支給実績を参照しながら、理事会が決定する。金額を決定する際は、事案の重要度及び通報情報の貢献度合いが考慮される。報奨金の支払限度は2,000カナダドル（約21万2,000円）であり、最高額の支給対象となるのは通常、殺人と性犯罪のみである。

トロントクライムストッパーズによると、報奨金を受取る通報者は、通報者全体の3分の1以下に留まっている。通報者の多くは、地域の治安維持の為にクライムストッパーズに通報しており、報奨金を目当てとしていない。

中国語通報フォーム

トロントには大規模なチャイナ・タウンがあり、中華系移民が多数生活していることから、トロントクライムストッパーズでは、中国語のオンライン通報フォームを用意し、英語で通報することが困難な移民人口に対しても、情報提供を呼びかけている。

中国語オンライン通報フォーム⁹⁸

CRIME STOPPERS
Toronto
1-800-222-TIPS 溫哥華熱線網上舉報表格

注意: 這份表格儲存於一個特定而保密的伺服器。這表格保證不會將試辦您是情迷表格的人, 您的匿名身份受到保護。只需選擇 "Click ONCE to Submit", 便可把一個保密、譯成密碼的電報信息直接傳送到溫哥華熱線。這電報信息只有溫哥華熱線能夠解讀。

想知道您的舉報有什麼結果, 請記下第一部份所顯示的獨特編號, 然後在六至八星期內致電溫哥華熱線, 電話: 416-222-8477 (TIPS) 或向商業轉機提供中文翻譯。

如果您希望以匿名方式提供資料, 請致電溫哥華熱線: 416-222-8477 (TIPS)。

如果您提供的資料證實為可靠及有用, 您可能有資格獲得報酬。

請留意回答下列問題, 這表格分為舉報編號, 罪案資料, 疑犯資料, 疑犯車輛資料及一般意見五種部分。

特別感謝多倫多市政府多語族文事務組 Janet Kwok

1. 舉報編號

請記下您的編號, 以便日後參考。

2. 罪案資料

⁹⁸ トロントクライムストッパーズウェブサイト (URL: <http://www.222tips.com/>)

6. オーストラリア

(1) オーストラリアクライムストッパーズの概況

導入の経緯

オーストラリアクライムストッパーズは、1987年にビクトリア州警察によって導入された。ビクトリア州警察のミック・ミラー本部長(chief commissioner)(当時)が、1985年に訪米の視察を行なった際、クライムストッパーズの活動について知りオーストラリアへの同制度導入可能性を検討し始めたことが契機となった。現在ではオーストラリアの全州にクライムストッパーズが導入されており、州・地域警察との連携体制を構築している。

オーストラリアクライムストッパーズの導入年⁹⁹

州・地域名	導入年
ビクトリア州	1987年
ニューサウスウェールズ州	1989年
クィーンズランド州	1989年
タスマニア州	1994年
西オーストラリア州	1995年
南オーストラリア州	1996年
ノーザンテリトリー(北部準州)	1996年
オーストラリア首都特別地域	1996年

オーストラリアクライムストッパーズは、アジア太平洋地域におけるクライムストッパーズの普及に強い関心を持っているほか、国際スポーツ大会がオーストラリアで開催された際、海外の警察とも連携して治安維持にあたる等、国際的な活動の展開を重視している。

中央支部と州・地域支部の関係

オーストラリアでは、各州に1箇所の事務局が設置されている。米国やカナダと異なり、地域や市町村レベルの支部は存在しない。各州に設置されたクライムストッパーズは州警察と提携している。

オーストラリアクライムストッパーズは各州支部の母体として存在するが、各州のクライムストッパーズと直接の統制関係にはない。オーストラリアでは州支部のつながりは弱く、州ごとに個別の活動を行っている。各州のクライムストッパーズは、オーストラリアクライムストッパーズを通じてCSIの傘下に入っている。

⁹⁹ Victoria Crime Stoppers ウェブサイト

(URL : <http://www.vic.crimestoppers.com.au/articleZone.aspx?articleZoneID=18>)

民間企業スポンサーからの支援

オーストラリアクライムストッパーズの財源は、主にスポンサーである民間企業からの寄付金によってまかなわれている。モトローラ (Motorola) 社は2004年からオーストラリアクライムストッパーズの主要なスポンサーとなっており、2005年にオーストラリアにおいてコモンウェルススポーツ大会が開催された際、クライムストッパーズの広報活動を資金面から支援した。大手スポンサーを確保することが、小規模の資金調達活動を多数展開するよりも効率的であると考えたオーストラリアクライムストッパーズは、企業スポンサーの確保に力を入れている¹⁰⁰。民間企業からの寄付金他にも、中央政府や州政府からの助成金も支給されている。例えばビクトリア州クライムストッパーズは、州政府及び中央政府から支給される特別補助金 (special grant) への申請を行っている。

モトローラの社名が入ったクライムストッパーズのカード¹⁰¹



EMERGENCY

- A crime being witnessed is an emergency. Phone **000** for an **urgent** police response.

CRIME INFORMATION

- If you know anything which might help police solve or prevent a crime, phone Crime Stoppers **1800 333 000**. (This could include learning in advance that a crime is to be committed.)

NON-URGENT

- If you become a victim of crime, report it to local police.

緊急時

- 犯罪を目撃した場合は、**速やかに**警察へ **000** 番通報をして下さい。

犯罪に関する情報

- もし犯罪の解決や防止につながるような情報をもっていたら、クライムストッパーズ **1800 333 000** まで通報して下さい。(犯罪が実際に発生する前の通報も受付けています)

緊急時以外

- 犯罪の被害者になった場合は、地域の警察へ被害届をご提出下さい。

¹⁰⁰ ビクトリア州クライムストッパーズ代表 (CEO) アラン・マックリーン氏。

¹⁰¹ オーストラリアクライムストッパーズ提供。

(2) ビクトリア州クライムストッパーズの事例

体制

ビクトリア州クライムストッパーズは広報活動や資金調達活動を展開する“フロント”チームと、匿名通報の受付を担当する“バック”チームの2つに分かれている。フロントチームは民間人(civilian)から構成される理事会が担当し、バックチームは警察が担当している。理事会メンバーは全員市民のボランティアスタッフであり、ボランティアスタッフの確保には警察は関与していない。

バックチームを担当するのは、フルタイム及びパートタイムの警官や州政府職員(civil servant)であり、大規模なイベントの開催等、多くの人員が必要となったときの為に補助スタッフを登録している¹⁰²。スタッフの教育は原則としてOJT(on the job training)にて行われ、通報受付の経験があるスタッフが、新しく配属されたスタッフに世話係(メンター)としてつき、通報への適切な対応の仕方について指導している。

ビクトリア州クライムストッパーズの通報受付時間は、午前7時から午後11時までの16時間であり、週7日通報を受付けているが、国際会議等重要なイベントが開催される時期は24時間体制で通報を受付けている。バックチームでは最低3名が1チームとなりシフト制で通報に対応している。スタッフは全員採用時に守秘義務契約を締結している。

通報の多くは信頼できる内容であり、いたずら電話は通報全体の3%程である¹⁰³。いたずら電話のほとんどは子どもによるものであり悪質なものは少ない。通報内容はあくまで捜査過程の参考となる情報の一つであり、捜査を実施するのは諜報機関や警察である。ビクトリア州クライムストッパーズが収集する情報は、“E4”に分類される。E4とは、情報の出所及び信頼性が不確実(source and value credibility unknown)である時に用いられる分類区分であり、警察内で情報を評価する際に用いられている¹⁰⁴。

スタッフ

ビクトリア州クライムストッパーズでは、10名の市民ボランティアが、理事会メンバーとなっている¹⁰⁵。フルタイムで勤務しているのは、警察コーディネータと代表者の2名のみであり、彼らの給与はビクトリア州警察から支払われている。スタッフは全員ビクトリア州の法律によって、守秘義務契約を結んでいる。

匿名通報を受けるスタッフになる為の資格は特段も受けられていないが、コミュニケーション能力があり、誠実で探究心の強い人材が求められている¹⁰⁶。

¹⁰² ビクトリア州クライムストッパーズ警察コーディネータ Val Smith 刑事補助スタッフは現役警察官から推薦された元警官や学生等である。

¹⁰³ ビクトリア州クライムストッパーズ警察コーディネータ Val Smith 刑事。

¹⁰⁴ ビクトリア州クライムストッパーズ警察コーディネータ Val Smith 刑事。

¹⁰⁵ ビクトリア州クライムストッパーズ代表(CEO)アラン・マックリーン氏。

¹⁰⁶ ビクトリア州クライムストッパーズ警察コーディネータ Val Smith 刑事。

多言語プログラム

オーストラリアは他民族国家であることから、ビクトリア州クライムストッパーズでは多言語プログラムに力を入れている。ビクトリア州クライムストッパーズのウェブサイトからは23カ国語に翻訳されたパンフレット及び音声ガイドをダウンロードすることが出来る¹⁰⁷。パンフレットの翻訳や、音声ガイドの作成等はすべてボランティアによって行われている。

ビクトリア州クライムストッパーズが作成している多言語パンフレットの種類¹⁰⁸

アムハラ語	韓国語	セルビア語	ペルシア語
アラビア語	ギリシャ語	タガログ語	ボスニア語
アルバニア語	クメール後	中国語	ポーランド語
イタリア語	クロアチア語	トルコ語	マケドニア語
インドネシア語	スペイン語	日本語	ロシア語
英語	ソマリア語	ベトナム語	

ビクトリア州警察日本語パンフレット¹⁰⁹



防犯の「決め手」

CRIME STOPPERS
1800 333 000

1. クライムストッパーズとは？
 クライムストッパーズとは、ビクトリア州警察と、犯罪解決に貢献しようとする市民らで作る地域共同体とのパートナーシップのことです。具体的には、匿名による犯罪情報の共有を目的としています。

特定の未解決事件を選び、メディア・パートナーを通じて広く一般から情報を募ります。また、どんな犯罪行為であっても、躊躇することなく通報することが望まれます。

2. クライムストッパーズの発祥は？
 ビクトリア州では、1987年にアメリカのニューメキシコ州のシステムをモデルに始めました。地域社会を守る意思を持った全てのビクトリア州民のためのシステムです。

3. クライムストッパーズに電話するのはもし犯罪が現に行われているところであれば、緊急電話000もしくは地元の警察に電話をする方が良いです。
 過去に起こった事件に関する情報であれば、クライムストッパーズ（1800 333 000）に電話してください。犯罪の影響があることを知った時や、薬物の製造・取引が行われている場所を通報する際にも、この番号に電話をかけてください。通訳が必要な場合は13 14 50まで電話をして、クライムストッパーズ・ビクトリアに繋いでもらってください。

4. クライムストッパーズの対応は？
 依頼を受けたオペレーターが応対し、詳細を記録します。その情報は、ビクトリア州警察の所轄部門に送られ、検討・捜査されることになります。

重要な情報は情報内容です。電話をかけた人については開示しません。通報者の匿名性が、この制度の鍵となっています。

5. 電話の逆探知は可能？
 逆探知は不可能です。電話番号表示システムはなく、通話の録音もなされません。情報提供者の匿名性は万全です。



6. 通報が役に立ったことを知る手段はある？
 初めて通報があった時に、通報者には整理番号が割り当てられます。4から5週間後に1800 333 000に電話して、その整理番号を告げて照会することができます。匿名ですから、クライムストッパーズの方から電話をかけることはもちろんできません。

¹⁰⁷ Victoria Crime Stoppers ウェブサイト
 (URL : <http://www.vic.crimestoppers.com.au/articleZone.aspx?articleZoneID=25>)

¹⁰⁸ Victoria Crime Stoppers ウェブサイト

¹⁰⁹ Victoria Crime Stoppers ウェブサイト日本語パンフレット
 (URL : http://www.vic.crimestoppers.com.au/articles/files/cs_brochure_japanese.pdf)

地元メディアとの連携

ビクトリア州クライムストッパーズには、「広報室」(Crime Marketing Office)と呼ばれる、地元メディアへの広報活動やインターネット上の情報提供を専門に行う担当室が設置されている。同室は、クライムストッパーズの広報戦略を設計し、メディアとの連携体制を強化している。また小規模ではあるものの、映画製作会社に働きかけ、事件の再現映像を作成しメディアを通じて放送している。

ビクトリア州クライムストッパーズには年間約 3 万件の通報が寄せられる。そのうち 10%はインターネットを通じた通報である。クライムストッパーズの情報がもととなり、年間約 800 名が逮捕されるという¹¹⁰。

報奨金の支払方法

報奨金の金額は、警察からの提案 (recommendation) を受けた後に理事会が決定する。報奨金の最高額は 1,000 オーストラリアドル (約 9 万 6,000 円) であるが、支払われる平均額は 250 ドル (約 2 万 4,000 円) 程度である。報奨金は 1 年に 30 件程しか支払われず、報奨金について問い合わせる通報者は全体の 5% に満たない¹¹¹。

報奨金は銀行口座に振り込まれることが一般的だが、クライムストッパーズが指定した企業へ現金を預けることもできる。

報奨金の支払にはポイント制が導入されており、事案の内容や押収された物品・薬物の価格によってポイントが決定される。報奨金は、理事会によって運営される資金調達活動の収益及び民間企業の寄付から拠出される。通報者が報奨金の受取りに関して問い合わせないと、報奨金は予算から引き出されず、保管される。

仮に複数の通報者から同様の通報が提供された場合は、原則として一番初めに情報を提供したものに報奨金を受領する権利が発生する。同一犯罪に関して異なる通報が寄せられ、両方が容疑者の特定に貢献した場合は、報奨金の受給額を分割し複数の通報者へ支払うこともあり得る。

通報者は完全に匿名であるため、クライムストッパーズ側から通報者へ連絡を取り、報奨金に関する指示を出すことは出来ない。

¹¹⁰ ビクトリア州クライムストッパーズ警察コーディネータ Val Smith 氏。

¹¹¹ ビクトリア州クライムストッパーズ代表 (CEO) アラン・マックリーン氏。